

令和 3 年 第 12 回 定 例 魚 沼 市 教 育 委 員 会 会 議 録			
会 議 日 程	令 和 3 年 12 月 14 日	午 後 13 時 30 分 開 会 午 後 14 時 43 分 閉 会	
場 所	魚沼市役所 本庁舎305会議室	書 記	佐藤 彰弘 渡邊 眞絵
委 員 定 数	5 名 (出 席 者 5 名 欠 席 者 名)		
出 席 委 員	教 育 長 樋 口 健 一	教 育 長 職 務 代 理 者 星 麻 衣	
	委 員 浅 井 誠 哉	委 員 八 木 由 美 子	
	委 員 桑 原 哲 哉		
欠 席 委 員			
説 明 の た め 出 席 し た 者	事 務 局 長 吉 澤 国 明	学 校 教 育 課 長 森 山 丈 順	
	管 理 指 導 主 事 島 田 昌 幸	管 理 指 導 主 事 角 谷 文 昭	
	統 括 指 導 主 事 新 澤 美 和 子	生 涯 学 習 課 長 斎 藤 勝 浩	
	子 ども 課 長 小 林 淳		
	学 校 教 育 課 係 長 佐 藤 彰 弘	学 校 教 育 課 主 任 渡 邊 眞 絵	

会議事項及び議事の経過

開会宣言

(樋 口 教 育 長) これより令和3年第12回魚沼市教育委員会を開催します。

日程第 1 会議録署名委員の指名について

(樋 口 教 育 長) 日程第 1、会議録署名委員の指名を行います。
本日の会議録署名委員は、会議規則第23条第 3 項の規定により
桑原 哲哉 委員をお願いします。

日程第 2 教育長の諸報告

(樋 口 教 育 長) 日程第 2、教育長の諸報告を行います。(日程2ページ、教育長諸報告
により11月17日から12月14日までの出席会議・行事について報告)

(樋 口 教 育 長) 教育長諸報告について、質疑はありませんか。

(委 員) (「ありません」の声あり)

(樋 口 教 育 長) 教育長諸報告については、以上でよろしいですか。

(委 員) (「はい」の声あり)

(樋 口 教 育 長) それでは以上で教育長の諸報告を終わります。

**日程第 3 報告第 5 号 (臨時代理報告)
令和 3 年度一般会計補正予算 (第 7 号) 追加分について**

(樋 口 教 育 長) 日程第 3、報告第 5 号、令和 3 年度一般会計補正予算 (第 7 号) 追加分
についてを議題といたします。事務局の説明を求めます。

(吉澤事務局長) 概要について説明いたします。(令和 3 年度一般会計補正予算 (第 7
号) 追加分についての概要説明)

(小林子ども課長) 説明いたします。(日程3ページ以降： 報告第 5 号、令和 3 年度一般会
計補正予算 (第 7 号) 追加分について説明)

(樋 口 教 育 長) 報告第 5 号について、質疑はありませんか。

- (委 員) 昨日の首相の発表では10万円の支給も可能であるということですが、先般の新潟日報の自治体アンケートでは、魚沼市は10万円の現金給付をしたと回答されていました。実際にはどういう方向に進んでいるのか教えてください。
- (吉澤事務局長) 制度の内容についてはこの次の報告の中で詳しくご説明いたします。
市長は、10万円一括支給が可能であればいいと回答しています。もらう方もおそらくそちらの方が喜ばしいでしょうし、事務費・事務負担的にも現金一括が一番合理的で良いというところですが、国は当初それを例外的にしか認めないとしていましたが、昨日の国会答弁では緩和するような言い方をしている状況を受けて、本日それに対して何とかならないかという協議を庁内において行ったところです。それについては本日議案にする準備が整っていませんでしたが、可能であれば一括支給をする方向で調整を進めています。補正予算には5万円分しか計上しておりませんので、今回の議会の最終日において、さらに補正予算措置をした後に、準備は並行して進めながら支給は23日以降の可能な営業日にすることで調整をしています。
- (委 員) 今朝のニュースを見ていると、明日5万円支給の通知を発送する準備をしていた自治体もあるようなので、魚沼市としてはそこまでの段階ではないということでしょうか。
- (吉澤事務局長) まさに、通知の準備をしていたところを差し替える作業をしているところです。本来であれば本日発送できた予定のものを途中で止めて、差し替えをしているところです。
- (樋口教育長) 当初、5万円を現金、5万円をクーポン券としていましたので、補正予算を組んだ5万円支給分の準備を進めていましたが、今朝市長から一括支給できないかと指示がありました。
- (小林子ども課長) 今後の予定を含めた調整内容ですが、昨日衆議院予算委員会で首相から年内一括支給を無条件で容認するという発言がありましたので、議会の予算の確保としては、議会最終日が23日ですので、最終日に補正第8号で追加分の事業費5万円分を計上させていただきます。そこで議決を受けて、27日の口座振込を予定しております。ただ、通知については先行して送付する必要がありますので、準備ができ次第通知をさせていただく予定です。
- (委 員) 差し替えとなった費用は国が負担してくれるのでしょうか。
- (吉澤事務局長) 全額国の事業になりますので、国が負担します。
- (小林子ども課長) 対象経費として報告します。
- (樋口教育長) ほかに質疑はありませんか。
- (委 員) (「ありません」の声あり)
- (樋口教育長) 質疑なしと認めます。
報告第5号について、本案は原案のとおり承認することに異議ありませんか。
- (全 委 員) 「異議なし」
- (樋口教育長) 異議なしと認めます。よって報告第5号は原案のとおり承認することとします。

日程第4 報告事項

①(市長部局要綱)

令和3年度魚沼市子育て世帯等臨時特別支援事業(子育て世帯への臨時特別給付(先行給付金))支給事務実施要綱の制定について

- (樋口教育長) 日程第4、報告事項①令和3年度魚沼市子育て世帯等臨時特別支援事業(子育て世帯への臨時特別給付(先行給付金))支給事務実施要綱の制定について、報告をお願いします。

- (小林子ども課長) 報告いたします。(日程8ページ以降：報告事項①、令和3年度魚沼市子育て世帯等臨時特別支援事業(子育て世帯への臨時特別給付(先行給付金)支給事務実施要綱の制定について説明)
- (樋口教育長) 報告事項①について、質疑はありませんか。
- (樋口教育長) 要綱の中に金額が入っていますが、こちらも修正するということでしょうか。
- (小林子ども課長) 国の正式な通知が来ないので何とも言えませんが、一括給付で内容も同じで良いとなれば、金額を10万円に変えます。ただ、目的が違うんだということであれば別要綱になる可能性もあります。
- (吉澤事務局長) 事務的なものが示されておらず、金額だけ10万円一括ということが事実上決まったということで、必要があればこの要綱を改定するか、別の要綱となるのか次の委員会で報告いたします。
- (樋口教育長) ほかに質疑はありませんか。
- (委 員) (「ありません」の声あり)
- (樋口教育長) それでは以上で報告事項①を終了します。

②魚沼市立入広瀬小学校の今後の在り方の方針について(答申)

- (樋口教育長) 日程第4、報告事項②魚沼市立入広瀬小学校の今後の在り方の方針について(答申)、報告をお願いします。
- (森山学校教育課長) 報告いたします。(日程15ページ及び別紙資料により説明：報告事項②、魚沼市立入広瀬小学校の今後の在り方の方針について(答申)について説明)
- (樋口教育長) 報告事項②について、質疑はありませんか。
- (委 員) 魚沼北中学校の時とは違い、吸収統合ということでしょうか。
- (森山学校教育課長) 魚沼北中学校の時とは異なり、入広瀬小学校は閉校し、入広瀬小学校のお子さんの学区が須原小学校学区に編入されます。どういった言葉が良いのか選んでいるところですが、統合ということになると思います。
- (樋口教育長) 北中の場合は、新設校という形での統合でしたが、今回は須原小学校区を変えて対象を広げることです。
- (委 員) これからどういうやり方でやっていくか計画を立てると思いますが、この1年で準備が間に合いますか。
- (森山学校教育課長) 計画については、検討委員会では設置せずに、教育委員会事務局で答申に基づいて、関係部署・関係機関等と相談をしながら具体的に詰めていきます。例えばスクールバスについても事細かな運行計画については短い期間では作れませんが、あと1年間をかけて行うことであれば十分間に合うと考えています。
- (吉澤事務局長) 魚沼北中の時は、校名や制服・校歌など調整する事項がたくさんありましたが、今回は小学校でありますし、入広瀬小の閉校ということで、調整する事項があまり多くないという実態でありますので、1年あれば十分可能であると考えています。
- (委 員) 今後、統合準備委員会のような組織を立ち上げる予定はありますか。
- (森山学校教育課長) 統合の委員会については想定をしておらず、入広瀬小学校の閉校については、皆さんからどのような形で閉校するのが良いのか検討していただきたいと思いますが、統合については須原小学校に編入されるイメージであります。
- (吉澤事務局長) 須原地域で説明会をしたときにどういうご意見が出るかわかりませんが、入広瀬の委員会ではそこまでの話しはありませんでした。

- (樋口教育長) 今後両地区で、保護者の皆さんと地域の皆さんへ改めて説明会を進めていく予定です。
- (委員) 上条小学校の時は、知らない・わからないような進め方だったと聞きました。いざ統合したら須原小学校にはほとんど伝わってなかったと聞いたことがあります。当時の資料があると思いますので、全部を巻き込んでやるのいいかわかりませんが、どうぞ勝手に来てくださいという雰囲気にならないよう、知らないということにならないようお願いします。
- (樋口教育長) 守門地域でもご案内して、地域向けの説明会を開催したいと思います。今、入広瀬小学校区の3-4年生3名が須原小にすでに通っていて、5-6年生は現在合せて9人です。その子達が卒業すると、現在の2年生が3人しか残らないということで、令和4年度末が限界であろうという結論になりました。統合準備においての交流等は、入広瀬小学校の校長にお願いしています。実際に2年生は学年PTA交流もしていますので、子供達が新しい学校生活を安定して送れるように説明やご意見を聴取していきたいと思います。
- (樋口教育長) ほかに質疑はありませんか。
- (委員) (「ありません」の声あり)
- (樋口教育長) それでは以上で報告事項②を終了します。

③魚沼市立図書館構想(素案)について

- (樋口教育長) 日程第4、報告事項③魚沼市立図書館構想(素案)について、報告をお願いします。
- (吉澤事務局長) 概要について説明いたします。(報告事項③、魚沼市立図書館構想(素案)についての概要説明)
- (齋藤生涯学習課長) 報告いたします。(別冊資料により説明:報告事項③、魚沼市立図書館構想(素案)について説明)
- (吉澤事務局長) 補足説明いたします。
資料の中の「目指す理念」や「図書館の行うサービス」の内容については、生涯学習センター設計におけるコンセプトとして、設計者を募集する際には公開する必要があると考えております。内部施設の規模や配置については、設計者が決定した後の市民ワークショップ等で具体化するという前提ではありますが、これも設計者募集の際には公開したいと考えております。これについては、先ほど来月の定例教育委員会で案をお示ししたいと申し上げましたが、設計者募集のプロポーザルのスケジュールとの兼ね合いで関係課と調整の上、案の段階でも公開をさせていただく場合があるかもしれません。事務局において最低限公開する必要があるものについては、事務局で調整をさせていただきたいということも併せてお願いいたします。
- (樋口教育長) 報告事項③について、質疑はありませんか。
- (委員) これから設計や準備していくとなると、30年後50年後も使えるような図書館になると思います。私は印刷された本が好きなのですが、電子書籍など子供がタブレットなどを持っているような時代であれば、子供が読書に電子書籍を使うこともできるのではないかと思います。蔵書何十万冊とありますが、電子書籍であれば収納スペースはそれほどかからないと思いますので、そういったところを検討していただきたいと思います。
障害者サービスについて、スペースの問題もありますが、例えば車椅子も使えるような設計が可能であれば、考慮していただきたいと思います。
中高生が親しみやすいということ考えると、県立図書館や十日町市の図書館は、学生が受験勉強や学習に多く利用していますので、そういったことができるようにぜひお願いいたします。

- (吉澤事務局長) 電子書籍については、これからの時代の流れから当然想定すべきことだと思いますが、設計上どのように反映するかはこれから打ち合わせをさせていただきたいと思います。
- 障害者の関係につきましては、最近建設される施設については、十分配慮をしてから設計することとし、庁内の関係部局と調整したいと思いません。
- 中高生、特に高校生については、街の賑わいという観点でも市長も注視しているところでありまして、建物単体もそうですし、現在の小出郷図書館が空きますので、中心市街地を含めて回遊できるような面的なことも含めて市民ワークショップで声を聞こうと考えているところです。
- (樋口教育長) ほかに質疑はありませんか。
- (委員) 専任館長の任命というのは、新たに募集をして建てるということでしょうか。
- (齋藤生涯学習課長) 図書館協議会からあがってきていますので、検討するということになります。
- (吉澤事務局長) 図書館協議会としては、こういうことを構想に入れたいということですが、これを受け止めるべきは教育委員会ということで、教育委員会が作成する構想にこの部分を入れるかどうかは来月お示しをしたいと思います。
- (樋口教育長) 市の図書館としてこうあるといいという提言です。そこに新しい図書館がプロポーザル方式で入ってくるので、改めてお示ししますが、施設的にはどれだけ取り入れられたり採用された設計の形となるのかということですが、専任館長となると設計とは別に市の図書館として、現在は生涯学習課長が兼務していますが、専任として置くべきだという協議会としては当然の提言だと思いますが、それらを含めて今後検討していきます。
- (樋口教育長) ほかに質疑はありませんか。
- (委員) イメージとしては県立生涯学習センターのようになるのでしょうか。
- (樋口教育長) 全くイメージがつかえません。プロポーザルですので、建築家や企業体の方が人の動きや雪国という特性を考えながら、どんな設計をしてくるのか、それを採用検討していくことになりますので、イメージしにくいところです。複合施設ということですので、図書館、公民館機能、福祉センターで展示する書道展などのホールの機能も一緒に盛り込んで設計してもらおうということです。
- (吉澤事務局長) 旧小出庁舎の敷地はそれほど広くないのですが、教育長が挙げた現在の小出郷図書館の規模に現在小出公民館として使用している部屋、福祉センターのホールの面積を単純に足すと収まりそうです。
- (委員) 駐車場が気になります。
- (吉澤事務局長) そこは設計者の腕の見せ所です。例えばピロティということは考えられると思います。
- (委員) 取り壊しはいつから始まりますか。
- (吉澤事務局長) 来年度取り壊すべく設計しています。
- (樋口教育長) ほかに質疑はありませんか。
- (委員) 街中と一体的に考えるということですよ。先日本町通りでスクラッチをもらったのですが、どこで使えるかわからず、ほとんどシャッターが閉まっていました。土曜日でした。
- (吉澤事務局長) 庁内のプロジェクトの中には商工課担当もいますので、誘客に結びつけるようなプランということで、ワークショップにも関係者に出てもらおうことになると思います。
- (委員) ほとんど閉まっていたので驚きました。
- (樋口教育長) ほかに質疑はありませんか。
- (委員) (「ありません」の声あり)

(樋 口 教 育 長) それでは以上で報告事項③を終了します。

日程第5 その他

①その他

(樋 口 教 育 長) 日程第5、その他、①その他

(樋 口 教 育 長) その他事項でありましたら、お願いします。

(吉澤事務局長) 市議会主催のヤングケアラーについての研修会が開催されます。日時は1月19日(水)午後2時から2時間程度で、会場は小出病院の講堂です。講師は南魚沼市教育委員会のスクールソーシャルワーカーともう御一方です。詳細な内容は届いておりませんが、議会の議員対象ではありますが、当局からも枠を設けたのでぜひ出席してほしいということですので、我々事務局もそうですが、委員の皆さんからも希望があればご出席いただきたいと思います。もう少し詳しい内容が届きましたらご案内を差し上げますので、出欠を取らせていただきたいと思います。以上です。

(樋 口 教 育 長) ご案内を送付させていただきますので、ご都合がございましたら出席をお願いいたします。

(樋 口 教 育 長) その他事項でありましたら、お願いします。

(佐藤学校教育課係長) 先月の会議録について、修正等ありませんでしょうか。

(委 員) ありません。

(佐藤学校教育課係長) それでは後ほど署名をお願いいたします。

(樋 口 教 育 長) ①その他についてほかにありませんか。

(委 員) 1月4日の賀詞交換会は、以前委員にも届いていたのですが、なくなったのでしょうか。

(吉澤事務局長) 賀詞交換会は、昨年度中止し、今年度実施することになりましたが、規模を縮小しています。行政委員については、基本的にはご案内しないという取り扱いであったということをお知らせすることを忘れておりました。今回はご案内が出ていないということです。

(委 員) 出席しなくていいということですね。

(吉澤事務局長) はい。今回は、人数も少なく飲食もなく短時間で終わるということでありました。

(樋 口 教 育 長) ①その他についてほかにありませんか。

(委 員) 先般、堀之内中学校で新型コロナの感染者が出て休校になった時に、GIGAスクール構想でオンライン授業を実施したと報道されていましたが、堀之内中学校は訪問した際もパソコンを使っていたので、スムーズにできたと思いますが、その状況と結果を教えてください。また、他の学校についても教えてください。

(角谷管理指導主事) 私も日報の取材の日に、堀之内中学校にお邪魔していました。時間割を特別に編成して、オンラインで対象であった2クラスと欠席していた生徒のクラス以外のクラスについて、オンラインで授業を行いました。オンラインですので実技教科の授業はできませんので、特別に編成した授業になります。通常の授業をやるように教室でカメラを前に先生方が黒板や投影機を使いながら授業を行いました。使ったのはGoogleClassroomのGoogleMeetという会議システムです。Zoomがよく使われていますが、Zoomは1画面に25コマしか出ませんので、Meetでは44コマの画面が出て、全クラスの生徒の顔を見ながら授業ができるということで行いました。準備段階としては、4月からいろんな形で準備を進めていて、今回のものに繋がったと認識しています。県内でも珍しく上手く実施しているということで、県の教育委員会からも視察に来ていました。

- (角谷管理指導主事) 　他の学校のこれからの取り組みについては、今日通知を出し、パソコンの持ち帰りと家庭の通信環境の調査、試行として家庭と学校双方向の通信でのやり取りを1月末までにお願ひしたいとしました。理由は、今収まっている新型コロナの状況からさらに拡大する恐れがあつて、学習保証ができるような形で行つていただきたいと試行をお願ひしました。本当は年度末までという学校もありましたし、来年4月から実施するという学校もありましたが、時期を早めて行うようお願ひをしました。早める学校については、私と学校教育課の職員で訪問し支援をしていきたいと考えています。
- (樋口教育長) 　GIGAスクールは今年度が元年であります。昨年度末までに端末を各校に配布して、今年からという状況です。色んな取り組みがありますが、どうしても学校間の格差は出てきます。堀之内中学校は校長先生がICTに詳しいですし、市のICT推進委員の委員長をしていただいております、その関係もあり順調に準備を進めておられたんだと思います。
市としては、オンライン授業や家庭と繋がるためには、子供たち一人一人にIDを配布したり、学校のWi-Fiの環境整備をしてきましたので、どの学校も実施できる環境になりましたが、規模や様々な理由で堀中のように最先端の学校と、まだ持ち帰りをしていない学校と開いてきている状況です。今年度中には家庭に持ち帰つてという大きな計画は示してありますが、学校で差が出てきていますので、堀中が先進的にいい事例を示していただきましたので、各学校と共有しながら遅れを取り戻して差がなくなるように努めていきたいと思つています。
- (委員) 　堀之内中学校が学級閉鎖ということがホームページに出ているときに、新聞が出てGIGAスクールについて載つていて、確かに堀之内中学校に訪問した際もどんどん使つていましたので、どんな結果だったのか気になりました。
- (樋口教育長) 　それでは以上で①その他を終了します。

②今後の会議日程

- (樋口教育長) 　令和4年 第1回定例会については、1月18日、午後1時30分から本庁舎3階304会議室で開催することとします。
- (委員) 　2月には人事の臨時教育委員会がありますか。
- (佐藤学校教育課係長) 　2月21日18時からを予定しています。
- (委員) 　その時間でないと、発表できないのでしょうか。
- (佐藤学校教育課係長) 　皆さんのお仕事の都合に合わせてということ、昨年まではその日の午前中に中越教育事務所に取りに行つて、その日の夕方臨時会ということだったと思います。
- (委員) 　21日の早い時間に変更できますか。
- (佐藤学校教育課係長) 　会場が確保できれば変更可能です。
- (島田管理指導主事) 　18日金曜日に取りに行くので、21日の朝からでも可能です。
- (委員) 　18日にはできませんか。
- (島田管理指導主事) 　同日にできるか、わかりません。
- (佐藤学校教育課係長) 　1月の定例会で改めてお示しします。
- (樋口教育長) 　それでは以上で②今後の会議日程を終了します。
- (樋口教育長) 　以上で日程を終了することとし、本日の委員会を閉会といたします。

終了時刻 午後 14 時 43 分

以上の記録は、書記が整えたものであるが、その正確であることを証して署名する。

令和 年 月 日

教 育 長

会議録署名委員